

事業コード	H21-建-新-06		区 分	国庫補助	県単独
事業名	地方道路交付金事業費(改築)		部局課室名	建設交通部 道路課	
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2493	
路線名等	主要地方道 神岡南外東由利線		担当課長名	小嶋 宣英	
箇所名	大仙市 南外下袋		担当者名	主幹(兼)班長 遠田 久雄	
総合計画との関連	政策コード	22	政 策 名	社会の変化に対応した新たな生活圏の創造	
	施策コード	04	施 策 名	地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備	
	指標コード	01	施策目標(指標)名	各市町村役場から30分以内到達圏域内の人口比率	

1. 事業の概要

事業期間	H22 ~ H26 (5年)		総事業費	10.5億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長L=3,200m 幅員W=6.0(8.5)m (1.25+6.0+1.25)						
事業の立案に至る背景	当該路線は、大仙市を起点とし由利本荘市に至る幹線道路であり、県南内陸部の地域間交流を支える主要な道路である。当該区間は、沿線集落を結ぶ重要な道路で、バス路線、通学路指定路線になっている。しかし、幅員狭小(最小幅員W=4.0m)で急カーブ(曲線半径R=100m未満)が多数あり歩道も無いため、歩行者の安全確保や大型車の通行に支障をきたしている。また、冬期は路肩堆雪による道路空間の減少により、歩行者の通行や車両相互のすれ違いが困難となっている。このため、平成20年度から実施している県営ほ場整備事業と一体的に整備し、幹線道路としての広域的な機能と、生活道路としての安全性を早急に確保するため、新規箇所として要望するものである。						
事業目的	大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域づくり支援) 通学路における児童の安全確保(安全な生活環境の確保) 第二次緊急輸送道路としての機能確保(防災、危機管理の充実)						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度以降
	事業費		1,050,000	60,000	210,000	470,000	310,000
	経費内訳	工事費	675,000		140,000	249,000	286,000
		用補費	248,000		57,000	185,000	6,000
		その他	127,000	60,000	13,000	36,000	18,000
	財源内訳	国庫補助	735,000	42,000	147,000	329,000	217,000
		県 債	299,200	17,100	59,800	133,900	88,400
その他							
一般財源		15,800	900	3,200	7,100	4,600	
事業内容			調査・設計	用地補償 改良工 橋梁工	用地補償 改良工 橋梁工 舗装工	用地補償 改良工 舗装工	
調査経緯	平成17年度 道路概略設計 平成20年度 道路予備設計						
上位計画での位置付け	総合計画「第4期実施計画」における施策「地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備」を支援する事業						
関連プロジェクト等	南外中央地区ほ場整備事業(H20~H25) 檜岡川県単河川改良事業(H20~H24)						
事業を取り巻く情勢の変化	幅員狭小、線形不良で歩道がないため、大型車の通行や児童が通学する際、危険な状態が続いている。						
事業効率把握の手法	指標名	各市町村役場から30分以内到達圏域内の人口比率					
	指標式	国土交通省「全国総合交通分析システム(NITAS)」利用による分析					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	96 %		データ等の出典	道路課調べ		
	達成値 b	96 %					
達成率 b/a	100 %		把握の時期	平成21年 4月			

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	バス路線(8往復/日)、通学路指定路線(南外西小学校、南外中学校)であるが、幅員狭小(Wmin=4.0m、W<5.5m未満が約8割)で急カーブ(Rmin=20m:3箇所)が多数(R<100m:10箇所)あり、歩道もないため歩行者の安全確保や大型車の通行に支障をきたしている。また、冬期は路肩堆雪による道路空間の減少により、人対車両、車両相互のすれ違いが困難となっている。	28点
緊 急 性	ほ場整備事業(南外中央地区:H20~H25)と一体的に整備することにより、狭隘区間や線形不良箇所の早期解消を図る。 大仙市における市町村合併支援道路である。(H17.3.22に1市7町による合併) H17センサスでは、3,517台/日とH9センサス3,240台/日に比べ交通量が増加している。 老朽橋対策による落合橋(S45架設)の架け替えが必要である。	15点
有 効 性	二次生活圏である大仙市中心部までの生活圏30分形成道路である。 第二次緊急輸送道路であり、地域防災計画重要道路となっている。	15点
効 率 性	事業の費用便益比は1.5であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 11億円 ・総便益の現在価値 16億円 計画交通量は800~3,200台/日となっている。	15点
熟 度	大仙市から当該区間の早期改良要望が出されている。 事業説明会を開催し、ほ場整備と一体となった道路改良事業の実施について、地元の内諾を得ている。	15点
判 定	ランク ()	88点
	判定ランク であり、また、「必要性」が特に高い点数となっており、住民の安全・安心の向上の面で有用な事業箇所であり、実施すべきと考える。	
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定	改善して選定	保留
広域的な幹線道路機能と生活道路の安全性を確保するため、事業の必要性は高いと認められる。 また、ほ場整備事業と一体となった整備を行うなど、熟度も高いことから、事業の実施は妥当と判断される。			

4. 財政課長意見

意見内容	選定	改善して選定	保留
当該区間は、幅員の狭小、線形不良等により改良の必要性があり、当事業の実施は妥当と考えられる。			

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定	改善して選定	保留
事業の実施は妥当である。			

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

来年度新規事業箇所として国に要望する。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 新規箇所評価

事業コード (H21-建-新-06)

適用基準名 道路改築事業 (地域内・生活圏交通促進)

箇所名 (大仙市 南外下袋)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	25	25	
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	20		
	・最小半径 < 100m	1箇所	15		
	・最急勾配 > 5%	0箇所	0		
	・冬期堆雪巾なし	5件該当	15		
	道路環境上の欠陥該当項目	4件該当	12		
	・現道の混雑度 1.0	3件該当	9		
	・現道の旅行速度 30km/h	2件該当	6		
	・現道の事故率 50件	1件該当	3		
・通学路指定で歩道なし	該当項目なし	0			
・重大交通事故が発生					
計			40	28	
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	あり	4	4	
	・県の主要プロジェクト				
	・地域振興プロジェクト				
	・ほ場整備等の他事業	なし	0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり	3	3	
		位置づけなし	0		
交通量	増加している	3	3		
	増加していない	0			
特有の課題の有無	あり	5	5		
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0			
計			15	15	
有効性	道路の位置づけ				
	生活圏30分形成道路等	該当する	5	5	
		該当しない	0		
	救急医療施設へのアクセス道路	該当する	5	5	
		該当しない	0		
地域防災計画上重要な道路	該当する	5	5		
	該当しない	0			
計			15	15	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比 (B / C)	1.0以上	8	8	
		0.5以上1.0未満	5		
		0.5未満	0		
	計画交通量	1,000台/日以上	7	7	
	500台/日以上1,000台日/未満	5			
	300台/日以上500台日/未満	3			
	300台/日未満	0			
計			15	15	
熟度	地元の状況				
	地元ニーズ	文書要望あり	5	5	
		口頭要望あり	3		
		要望なし	0		
	地元の協力体制	地元の内諾	5	5	
	用地反対	0			
地元への方針説明	あり	5	5		
	なし	0			
計			15	15	
合計			100	88	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		